

Office Address:

4/F, Erythrina Bldg., Matatag cor Maalarin Sts.

Bgy. Central, Quezon City, PHILIPPINES

Tel / Fax. 435-6930



Email: bayan_national@yahoo.com

BAGONG ALYANSANG MAKABAYAN

アジア共同行動日本連絡会議第17回総会への連帯メッセージ

フィリピン新民族主義者同盟 (BAYAN)

2012年3月18日

フィリピン新民族主義者同盟は、今日3月18日の第17回総会に集まったアジア共同行動日本連絡会議のすべてのメンバーに連帯のあいさつを送ります。

日本連第17回総会の目的は、「米軍基地、原発、およびその他の反人民的諸政策に対する闘いをいかに組織していくか」、「帝国主義に対する闘いをいかに強化していくか」、そして、「アジア太平洋地域の民衆運動との連帯をいかに強化していくか」にあると思います。

そこで、BAYANはこの機会に、アジア共同行動日本連の皆さんに対して、米比合同軍事演習が始まる**2012年4月16日**に、ぜひわれわれと共に抗議行動をおこなうことを呼びかけたいと思います。「バリカタン」（「肩を並べて」の意）と称するこの軍事演習はフィリピン各地、とりわけ中部ルソンにおいて、二週間にわたっておこなわれます。

この軍事演習には**日本の自衛隊も**参加します。

BAYANが知る限り、フィリピンと日本のあいだでは軍事協定は結ばれていません。それゆえ、このようなかたちで日本の自衛隊がフィリピンに来るということは実に驚くべきことです。

米国はアジア太平洋地域の同盟国をはじめとした諸国の軍隊にフィリピンでの戦争演習に参加するように命じています。

さる1月3日、米国のオバマ大統領は、地域の安全に対する「新たな脅威」に対処し、世界でも資源豊かな地域のひとつであるこの地域における経済的利益を「保護する」と称して、アジアおよび中東における米軍兵力の再編を発表しました。その新防衛戦略が述べているように、米国の経済的・安全保障的な利害は、アジア太平洋における兵力配置と「分かれ難く結びついて」います。深まる経済危機のただなかで、米国はアジアにおける経済的・軍事的利害を守るためにますます侵略的になっています。

米国は、その軍隊を沖縄からグアムに移動すること、フィリピンやオーストラリアでの兵力配置を増強すること、アジア太平洋地域における艦船の寄港や二国間・多国間の軍事演習を増大させること、を計画しています。このアジアにおける再編は、中国と朝鮮民主主義人民共和国に対する包囲・対抗を目的にしています。米国はフィリピン、オーストラリア、日本、グアムをこの地域のパワー・プロジェクション（遠隔地への兵力の投入）や軍事介入のための出撃拠点としてとしています。この再配置は米国に対してその独立を主張する国々との緊張を高めずにはおきません。

日本での抗議に直面して、米国は 8500 人の軍隊を沖縄からグアム、オーストラリア、フィリピン、ハワイに移動させようとしています。米国は、フィリピンの多くの地域で軍事演習を頻繁にかつより長期間にわたっておこなうために、サンバレス州にある元スービック海軍基地を取り戻し、セブやバタン島（ルソン島の最北部）の施設を利用しようとしています。米国はまた、南中国海の紛争地域での軍事プレゼンスの増強を追求しています。さらに米国は韓国・チェジュ島での基地建設を推進しています。

きたるフィリピンでのバリカタン演習には、約 4000 人の米兵に加えて、他の ASEAN 諸国の軍隊、日本の自衛隊の代表が参加します。この演習は南中国海の紛争地域に近いパラワン島を中心におこなわれます。

最後あらためて、BAYAN はアジアの反基地団体に対して、アジアにおける米軍再編に対するたたかいの一部として、連携した行動を呼びかけるものです。###